素浪人忠弥（1957）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 106分
初公開日 1957/08/20

【解説】
棚田吾郎のオリジナル脚本を、主役に片岡千恵蔵を迎え、佐伯清が監督した時代劇。幕府転覆を狙い慶安の変を首謀した丸橋忠弥の半生を描く。丸橋忠弥を描いた作品として1930年に公開された同タイトルの映画が存在する。
島原の乱で幕府軍に加わった丸橋忠弥は、愛用の槍を持って縦横無尽の働きを見せ、総大将である松平信綱の命をも救った。信綱は中弥を召し抱えようとするが、中弥はそれを断り、年老いた母と戦災孤児のすずを連れて郷里へ向かった。江戸に出てきた中弥は町道場を開かせてもらい、由井正雪と出会う。中弥を気に入った正雪は仲間に誘うが、中弥はこれも断り続けた。しかし幕府に由井正雪の一味とともに召し捕られる計画があることを知り、中弥は正式に正雪の仲間になるのだった。

【クレジット】
監督 佐伯清
企画 玉木潤一郎
植木照男
脚本 棚田吾郎
撮影 三木滋人
美術 塚本隆治
音楽 飯田景応
出演 片岡千恵蔵
大川恵子
植木千恵
三浦光子
片岡栄二郎
加賀邦男
清川荘司
富田仲次郎
佐々木孝丸
神田隆
澤村宗之助
原健策
坂東簑助
岩井半四郎
薄田研二

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.